

島根県農業経営基盤 強化促進基本方針

(別 表)

1. 効率的かつ安定的な農業経営の基本指標
2. 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

島根県農業経営基盤強化促進基本方針 (別 表)

目 次

1	効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標	1
2	新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の 基本的指標	1
3	各地域共通	2
1)	個別経営体	2
①	水稲＋大豆＋水稲作業委託	2
②	施設花き（ストック＋トルコギキョウ）	2
③	水稲＋施設野菜 （半促成トマト＋抑制きゅうり、半促成メロン＋抑制トマト）	4
④	水稲＋施設野菜（いちご[養液栽培]）	4
⑤	果樹（かき）	6
⑥	酪農（経産牛50頭）	6
⑦	水稲＋肉用牛（繁殖30頭）	8
⑧	肉用牛（繁殖50頭）	8
⑨	有機施設野菜（ほうれんそう＋小松菜＋葉ねぎ＋春菊）	10
2)	組織経営体	12
⑩	肉用牛（肥育300頭）	12
⑪	酪農（経産牛200頭）	12
3)	集落営農型の農業生産法人	14
⑫	水稲＋大豆＋施設園芸（ミニトマト）＋水稲作業受託	14
4	平坦農村地域	16
1)	個別経営体	16
⑬	水稲＋大豆＋ビール麦	16
⑭	水稲＋飼料米	16
⑮	水稲＋露地野菜（ブロッコリー＋キャベツ）＋水稲作業受託	18
⑯	施設果樹（ぶどう）	18
5	中山間農村地域	20
1)	個別経営体	20
⑰	水稲＋施設野菜（夏秋トマト）＋露地（夏秋なす＋小松菜）	20

1 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

島根県農業経営基盤強化促進基本方針の第1の3の(1) 効率的かつ安定的な農業経営の基本水準で示した目標（年間所得概ね400万円、年間総労働時間概ね2,000時間）の達成を可能とする経営類型の例示は、3から5のとおりとする。

なお、基本指標で示す農業経営体の概念については、以下のとおりとする。

(1) 個別経営体	個人又は一世帯によって農業が営まれている経営体であって、主たる農業従事者が他産業従事者と均衡する年間総労働時間と地域の他産業従事者並みの年間所得水準を確保できるような農業経営を行い得るもの。
(2) 組織経営体 (3) 集落営農法人	複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、または、これと併せて農作業を行う経営体であって、主たる農業従事者が、他産業従事者と均衡する年間総労働時間と地域の他産業従事者並みの年間所得水準を確保できるような農業経営を行い得るもの。

2 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標は、3から5に掲げる経営類型の例示のとおりとする。ただし、所得目標については、主たる従事者1人あたりの年間所得概ね280万円（1に掲げる効率的安定的な農業経営の基本水準の7割）とする。

なお、農業経営体としては、個別経営体及び組織経営体とする。

※1、2の基本指標については、社会情勢の変化等に適応したものとするため、必要に応じて適宜見直すものとする。

3 各地域共通

1) 個別経営体

経営類型	経営規模	生産方式
① 水 稲 + 大 豆 + 作業受託	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 3.0ha 大 豆 2.0ha 水稲作業受託 8.0ha (基幹3作業)</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 5.0ha (うち借地 3.0ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫(150㎡) 1棟 ・育苗ハウス(216㎡) 1棟 ・トラクター(30ps) 1台 ・田植機(乗用型5条) 1台 ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(30石) 2台 ・管理機(乗用) 1台 ・大豆コンバイン 1/2台 (大豆の乾燥調製は、外部委託) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲については、品種の組合せにより作業期間の拡大を図る。 ・農地の集団化や管理道の整備等により作業の効率化を図る。
② 施設花き (ストック+ トルコギキ ョウ)	<p><作付規模等></p> <p>ストック 14.4a トルコギキョウ 39.6a</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫(67㎡) 1棟 ・パイプハウス(360㎡) 11棟 ・トラクター(乗用15ps) 1台 ・動力噴霧機 1台 ・灌水ポンプ装置 4台 ・保冷库(1.5坪) 1台 ・加温機 3台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作型、品種の組み合わせにより労力配分を図る。 ・地力対策や連作障害対策を実施する。 ・出荷単位を考慮して、1品種3a以上の作付けと花色バランスを図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 ・収穫・出荷調製等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式
③ 水 稲 + 施設野菜 (半促成トマ ト+抑制きゅ うり又は、半 促成メロン+ 抑制トマト)	<作付規模等> 水 稲 1.3ha 半促成トマト + 抑制きゅうり 46.8a 半促成メロン + 抑制トマト 39.6a <経営面積> 水 田 1.8ha	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(150㎡) 1棟 ・パイプハウス(360㎡) 25棟 ・トラクター(20ps) 1台 ・動力噴霧機 1台 ・動力運搬車 1台 ・土壌消毒器 1台 ・田植機(乗用型5条) 1台 ・コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(30石) 1台 ・糶摺り機 1台 <その他> ・トマトは共同選果
④ 水 稲 + 施設野菜 (いちご[養 液栽培])	<作付規模等> 水 稲 1.3ha いちご[養液栽培] 43.2a <経営面積> 水 田 1.8ha	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(66㎡) 1棟 ・連棟ハウス(7連棟2100㎡) 2棟 ・パイプハウス(育苗用360㎡) 1棟 ・予冷庫 2台 ・島根型養液システム 2セット ・動力噴霧器 1台 ・炭酸ガス発生機 1台 ・田植機(乗用型5条) 1台 ・コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(30石) 1台 ・糶摺り機 1台 <その他> ・いちごの品種の組み合わせによる労力配分を図る ・養液管理の徹底

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 4人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式
⑤ 果 樹 (かき)	<作付規模等> か き (露地) 西条 150a <経営面積> 果樹園 150a	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(50㎡) 1棟 ・可搬式動力噴霧器 (4.3ps) 1台 ・ハンマーナイフモア (8ps) 1台 ・自走式運搬車 1台 ・バークストリッパー (3ps) 1台 <その他> ・低樹高仕立てを行う。 ・高品質生産を図る。 ・機械利用の効率化を図られるよう樹園地の集団化と基盤整備を行う。 ・無霜地域とし、防風対策を行う。
⑥ 酪 農	<飼養規模> 経産牛 50頭 育成牛 20頭 <作付規模等> 牧草地 6.0ha 飼料畑 4.0ha (春夏作) スーダングラス (秋冬作) イタリアンライグ ラス 混播牧草	<主たる資本装備> ・畜舎500㎡ 1棟 ・堆肥舎345㎡ 1棟 ・農機具庫175㎡ 1棟 ・パイプラインミルクカー 4台 ・バルククーラー(1,500ℓ) 1基 ・ガス給湯器 1台 ・バークリナー (50頭用) 一式 ・トラクター(70ps) 2台、(50ps) 1台 ・その他飼料作物栽培及び貯蔵用機械 一式 (ロールベアラー等) ・マニアスプレッダー 1台 <その他> ・良質な粗飼料生産を図る。 ・牛群検定により高泌乳牛の留保を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.3人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー制度等を活用して休日制を導入する。 ・家族経営協定締結に基づく休日制や給料制の導入 ・労働ピーク時の雇用対策を図る。 ・安全な作業を行うため、休息時間の確保や作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1.5人 ・年間雇用者 0.5人

経営類型	経営規模	生産方式
⑦ 水 稲 + 肉用牛 (繁殖)	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 5.0ha 飼料畑 3.0ha (夏作) スーダングラス (秋冬作) イタリアンライグ ラス</p> <p><飼養規模></p> <p>経産牛 30 頭 育成牛 3 頭</p> <p><経営面積></p> <p>放牧地 8.0ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫(150㎡) 1棟 ・育苗ハウス(2160㎡) 1棟 ・トラクター(30ps) 1台 ・側条施肥田植機(乗用6条) 1台 ・自脱型グレンタンク付コンバイン(3条) 1台 ・糶摺機 1台 ・背負動力散粉機 1台 ・畜舎(200㎡) 1棟 ・堆肥舎(68㎡) 1棟 ・牧柵 4800m ・ロールベラー(直径90cm)他ロールベールサイ レージ生産機械 一式 ・マニユアスプレッダー 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲は作業期間の拡大を図る。 ・良質な粗飼料を確保する。 ・1年1産技術の確立を図る。 ・放牧を進め省力化を図る。 ・農地の集団化、管理道の整備等を行い作業の効率 化を図る。
⑧ 肉用牛 (繁殖)	<p><飼養規模></p> <p>経産牛 50頭 放牧 30頭 舎飼 20頭 育成牛 5頭</p> <p><経営面積></p> <p>飼料畑 5.0ha 放牧地 10.0ha (飼料畑) 混播牧草 (放牧地) ジバ、永年牧草</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎200㎡ 1棟 ・堆肥舎68㎡ 1棟 ・牧柵 4800m ・トラクター(38ps) 1台 ・ロールベラー(直径90cm)他ロールベールサイ レージ生産機械 一式 ・マニユアスプレッダー 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な粗飼料確保を図る。 ・1年1産技術の確立を図る。 ・放牧を進め省力化を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 の確保や作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 ・放牧を積極的に行い未利用資源の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 2人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー制度等を活用し、休日制を実施する。 ・給料制を導入する。 ・休息時間の確保など作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 ・放牧を積極的に行い未利用資源の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0.5人

経営類型	経営規模	生産方式
⑨ 有機施設野菜	<作付規模等> ほうれんそう 80a 小松菜 120a 葉ねぎ 60a 春菊 40a <経営面積> 畑 60a	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫 (66㎡) 1棟 ・パイプハウス (200㎡) 30棟 ・トラクター (20ps) 1台 ・肥料散布機 1台 ・予冷庫 1台 <その他> ・有機栽培技術の習得 ・除草、病害虫対策の徹底 ・播種、収穫・調整等適期作業の励行

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品装着等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0.5人 ・年間雇用者 4人

2) 組織経営体

経営類型	経営規模	生産方式
<p>⑩ 肉用牛 (黒毛肥育)</p>	<p><飼養規模> 去勢和牛 300 頭</p>	<p><主たる資本装備> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎 (648㎡) 1 棟 ・堆肥舎 (360㎡) 1 棟 ・トラック (2 t) 1 台 ・ホイールローダー (38ps) 1 台 ・飼料庫 (126㎡) 1 棟 <p><その他> <ul style="list-style-type: none"> ・580日肥育を行う。 ・地域内で繁殖肥育一貫経営を図る。 ・「しまね和牛」肥育の手引きを活用する。 ・良質な粗飼料 (乾草) を確保する。 </p> </p>
<p>⑪ 酪農</p>	<p><飼養規模> 経産牛 200 頭 育成牛 80 頭</p> <p><作付規模等> 牧草地 20.0ha 飼料畑 20.0ha (春夏作) スーダングラス (秋冬作) イタリアンライ グラス 混播牧草</p>	<p><主たる資本整備> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎 (2000㎡) 1 棟 (パーラー方式) ・堆肥舎 (1000㎡) 1 棟 ・ミルクパーラー 一式 ・バルククーラー (6000ℓ) 1 基 ・電気温水器 1 基 ・コンプリートフィルダー 一式 ・トラック (2 t) 1 台 ・バキュームカー (2000ℓ) ・トラクター (70ps) 1 台、(50ps) 1 台 ・フロントローダー 1 台 ・ロールベラー 1 台 ・飼料作物栽培管理機械 一式 <p><その他> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な粗飼料生産を図る。 ・牛群検定により高泌乳牛の保留を図る。 </p> </p>

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経理を明確にする。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内の役割分担を明確化する。 ・法人化を視野に経営管理の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を導入する。 ・家族経営協定締結に基づく休日制や給料制の導入 ・作業の安全性を確保するため休憩時間の確保や薬剤散布時に装備品を着用する。 ・雇用者の福祉を図るため社会保険に加入する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・収穫・出荷選別等のピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・作業を快適とするため補助具の設置や換気等作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経理を明確にする。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・法人化を視野に経営管理の強化を図る。 ・経営体内の役割分担を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を導入する。 ・作業の安全性を確保するため休憩時間の確保や薬剤散布時に装備品を着用する。 ・雇用者の福祉を図るため社会保険に加入する。 ・収穫・出荷選別等のピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・作業を快適とするため補助具の設置や換気等作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 5人

3) 集落営農型の農業生産法人

経営類型	経営規模	生産方式
<p>⑫</p> <p>水 稲 + 大 豆 + 施設園芸 + 水稻作業 受託</p>	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 16.0ha 大 豆 9.8ha ミニトマト 10.8a 水稻作業受託4.0ha (基幹3作業)</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 25.9ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (350㎡) 1棟 ・育苗ハウス (2160㎡) 1棟 ・トラクター (30ps) 1台 ・側条施肥田植機 (乗用6条) 1台 ・大豆施肥播種機 1台 ・自脱型コンバイン (3条) 1台 ・大豆コンバイン 1/2台 ・循環型乾燥機 (30石) 2台 ・トロ箱栽培システム 一式 ・ミニトマト選果機 1台 ・動力散布機 (25ℓ) 1台 ・トラック (1t) 1台 <p>(大豆の乾燥調製は、外部委託)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、品種の組合せにより作業期間の拡大を図る。 ・農地の集団化や管理道の整備等により作業の効率化を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳を行う。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・組織の継続性を確保するため、経営・販売戦略の樹立に努める。 ・自己資本の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3名程度のオペレータを確保し、労働集中時の危険分散を図る。 ・女性、高齢者、兼業農家など多様な人材を登用し、集落内労働力を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 (オペレータ) 3人

4 平坦農村地域

1) 個別経営体

経営類型	経営規模	生産方式
<p>⑬</p> <p>水 稲 + 大 豆 + ビール麦</p>	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 7.5ha 大 豆 5.0ha ビール麦 5.0ha</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 12.5ha (うち借地10.5ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 ・トラクター (30ps) 1台 ・側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 ・播種機 1台 ・自脱型コンバイン (3条) 1台 ・乾燥機 (30石) 2台 ・動力散布機 (26ℓ) 1台 ・大豆コンバイン 1台 (大豆の乾燥調製は外部委託) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、品種の組合せにより作業期間の拡大を図る。 ・農地の集団化や管理道の整備等により作業の効率化を図る。 ・2年3作体系を確立する。
<p>⑭</p> <p>水 稲 + 飼 料 米</p>	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 7.5ha 飼料米 5.0ha</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 12.5ha (うち借地 7.5ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 ・トラクター (30ps) 1台 ・側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 ・動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン (グレンタンク付き) 1台 ・循環型乾燥機 (30石) 2台 ・糶摺機 1台 ・軽トラック 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻、飼料米については、品種の組合せにより作業期間の拡大と農地の集団化を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・P Cを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・P Cを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式
⑮ 水 稲 + 露地野菜 + 水稲作業 受託	<作付規模等> 水 稲 3.0ha ブロッコリー4.5a キャベツ 2.0ha 水稲作業受託2.0ha <経営面積> 水 田 4.5ha (うち借地 2.5ha)	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫 (50㎡) 1棟 ・パイプハウス (150㎡) 5棟 ・トラクター (30ps) 1台 ・側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 ・野菜半自動定植機 1/3台 ・たまねぎ収穫機 1台 ・高床式作業車 1台 ・動力散布機 (26ℓ) 1台 ・循環式乾燥機 (30石) 2台 (キャベツは苗購入) <その他> ・水稲については、品種の組合せにより作業期間の拡大と農地の集団化を図る。 ・ブロッコリー、キャベツは、品種・作型により、労働調整を図る。
⑯ 施設果樹 (ぶどう)	<作付規模等> デラウェア 早期加温 20a 普通加温 10a シャインマスカット 普通加温 10a 無加温 10a <経営施設面積> ハウス 50a	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫 (80㎡) 1棟 ・パイプハウス (1000㎡) 10棟 ・灌水装置 (スプリンクラー) 一式 ・温風暖房機 4台 ・ミニバックホー (0.8t) 1台 ・動力運搬車 1台 <その他> ・果実の高品質生産や省エネルギー対策を図る。 ・樹勢を考慮した作型のローテーションを行う。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 1人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品着用等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.3人

5 中山間農村地域

1) 個別経営体

経営類型	経営規模	生産方式
⑰ 水 稲 + 施設野菜 + 露地野菜	<p><作付規模等></p> <p>水 稲 3.0ha 施設トマト(夏秋) 43.2a なす(夏秋) 20a 小松菜 40a 水稻作業受託7.0ha</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 3.0ha 畑 1.0ha (うち借地 3.0ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場兼格納庫(50㎡) 1棟 ・トラクター(25ps) 1台 ・側条施肥田植機(乗用5条) 1台 ・半自動定植機 1/3台 ・動力運搬車 1台 ・動力噴霧機 1台 ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(30石) 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種時期の調整により夏秋時期の労働ピークの回避を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 2人 ・年間雇用者 0.5人